

令和5年度事業計画

令和5年4月1日～令和6年3月31日

(事業の基本方針)

国内外の経済の状況について、エネルギーや食料品の価格上昇からインフレが一段と高まることが懸念される。

一方、新型コロナウイルスの感染法上の位置付けについて、政府は、2023年5月8日に、季節性インフルエンザなどと同じ「5類」に移行する方針を正式に決定した。これにより、国内の行動制限や海外から日本に入国する際の水際対策が大きく緩和され、個人消費や設備投資の内需やインバウンドによる経済の回復が期待される。

高山市が発表した2022年の観光入込客数は、前年の1.5倍の308万6千人(2019年の過去最高477万3千人に比べると約65%)、外国人宿泊者数は、約1.3倍の4万493人(2019年61万2千204人に比べると、約6.6%)と回復傾向にある。

このような情勢の中、当財団は、令和4年9月にとりまとめた経営の「検討結果とりまとめ」に基づき、令和5年度事業を計画した。

公益目的事業では、既存事業の見直しを行い、他の支援機関が実施する支援事業との重複回避や、事業の目標設定と効果検証を取り入れた。また、後継者確保が長年の課題となっており、新規事業として伝統工芸インターンシップ事業を計画した。

収益事業の貸館事業では、社会活動が活発となる情勢を好機ととらえ、施設の利便性や優位性を活かしたPRにより稼働率と収益性を高める。また、1階ギャラリーの販売事業では、個人やグループでの企画展を定期的で開催し、地場産センターの認知度や販売の向上に努める。

1. 施設管理運営事業

令和4年度は、安全な運行が出来ないとして停止していたエレベーターの取り換え工事を行い、同年12月に完成し、運行を再開した。

令和5年度は、大規模改修工事の予定はなく、老朽化している冷暖房設備等については、定期的なメンテナンス点検により安全な管理・運用に努める。

2. 地場産業振興事業

(1) 地場産品展示・普及事業

(ア) 飛騨・暮らしの工芸品展示会事業

飛騨地域には、伝統的工芸品(飛騨春慶・一位一刀彫)の他にも陶磁器、木工、紙製品、ガラス、布、染、金工、竹細工など数多くの優れた工芸品が作られているが、一部を除いて全国的知名度・認知度は十分とはいえない。こ

これらの工芸品の認知度を高め、当地を代表する工芸品として育成・発展させるため、積極的かつ継続的なPRが必要であることから、展示会を開催する。

- ・実施期間 令和6年2月29日(木)～3月5日(火) 6日間
- ・実施場所 兵庫県神戸市中央区三宮1-10-1
さんちかホール(約250㎡)
- ・設置コーナー ①工芸品展示コーナー
飛騨春慶、一位一刀彫、陶磁器、布細工、染物、
和紙、竹細工、木工家具、ガラス 他
②観光・工芸品パンフレットコーナー

(イ) 飛騨の伝統的工芸品展

飛騨地域の伝統工芸品である飛騨春慶、一位一刀彫、陶磁器を広く紹介し、伝統工芸品の魅力のPRと販路拡大を目的に、国の伝統的工芸品月間に合わせて開催する。

- ・実施期間 令和5年11月1日(水)～7日(火) 7日間
- ・実施場所 飛騨高山まちの博物館
- ・主催 飛騨伝統的工芸品産業振興協議会、地場産センター

(ウ) 地場産業普及開拓事業

飛騨地域の伝統的工芸品・郷土工芸品の普及と販路開拓を目的に、首都圏において展示会を開催する。

- ・実施期間 令和5年11月～12月の間で14日間を予定
- ・実施場所 東京都港区赤坂8丁目1番22号
伝統工芸青山スクエア

(エ) 飛騨ものづくり展(新規)

飛騨地域の優れたものづくりのPRを目的に、地場産センター1階 匠&クラフトギャラリーにおいて企画展を実施する。

- ・実施場所 地場産センター 1階 匠&クラフトギャラリー

(2) 地域人材確保・養成事業

(ア) 飛騨地域ものづくり技能向上研修

第一線で活躍されている職人を招き、飛騨地域の伝統的なものづくり等の技術を若い技術者に伝えることで、ものづくり意欲の向上と研鑽の場とするため、研修会を開催する。

- ・実施期間 令和5年7月～令和6年3月
- ・講習業種 板物留付、木彫 他
- ・実施場所 地場産センター
- ・募集人員 各講座 10名程度

(イ) 伝統工芸後継者育成インターンシップ事業(新規)

飛騨地域の伝統工芸は、職人の高齢化と後継者不足が課題となっているため、伝統工芸の後継者を育成するためのインターンシップ事業を実施する。

(3) 地場産業活性化対策事業

(ア) 飛驒の味まつり

飛驒地域において生産される「食」を展示・即売し、飛驒の味の魅力を広く紹介し、需要の開拓・販路の拡大を図ることを目的に春・秋2回開催する。

① <春> 令和5年6月3日(土)・4日(日) 2日間

・実施場所 飛驒高山まちの体験交流館 交流広場

② <秋> 令和5年9月30日(土)・10月1日(日) 2日間

・実施場所 飛驒高山まちの体験交流館 交流広場

(イ) 親子伝統的工芸品体験教室

飛驒地域の小学生の親子を対象に、夏休みの期間を利用して、伝統工芸の制作体験教室を開催し、伝統工芸品への理解と関心を深めるとともに、飛驒地域のものづくりへの関心を醸成することを目的に実施する。

・実施期間 令和5年7月下旬

・実施場所 地場産センター

・実施業種 一位一刀彫

(ウ) 地域活性化促進事業

飛驒高山観光客誘致推進協議会が行う事業に協力する。

(4) 地場産業販路開拓事業

(ア) 飛驒のクラフト販路開拓事業

飛驒地域に育っているクラフト制作者（飛驒のつくり手の会、飛驒の木工房の会）の作品を広く紹介し、需要を促進することにより、クラフト制作が集積された産業として進展することを目的に実施する。

・実施期間 令和5年10月21日(土)～25日(水) 5日間

・飛驒の家具フェスティバルに参加する。

3. その他の振興事業

(1) 「2023 飛驒の家具フェスティバル」

後援団体として事業の推進に協力する。

・主 催 (協)飛驒木工連合会

・開催期間 令和5年10月21日(土)～25日(水) 5日間

(2) 飛驒のつくり手の会に対する支援

飛驒のつくり手の会の事務局を担当し、事業の推進を支援する。

(3) 飛驒の木工房の会に対する支援

飛驒の木工房の会の事務局を担当し、事業の推進を支援する。

4. 経営検討委員会の開催

年1回の開催を予定し、事業成果の情報共有し、経営の方向性を見直していく。